



蕪栗沼・周辺水田 田んぼでの草取り体験

任意団体 ユースラムサールジャパン

ラムサール条約湿地で活動するユースによる 「ユースラムサール交流会」の開催 ～ユースによる湿地保全に向けての 普及啓発活動と全国湿地ネットワークの構築～

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

ユースラムサール
交流会の参加者数

18人

ユースリサーチ
プロジェクトの実施

5カ所

活動の全体目標に
対する達成度

40%

課題

湿地で活動しているユースのネットワーク形成が進んでおらず、ユース自身も知識や経験が乏しく、湿地保全のために何をしたらいいかわからないケースがある。

活動内容

ユースラムサールCEPAワークショップ(交流会)を蕪栗沼・周辺水田(宮城県)とクッチャロ湖(北海道)の2箇所で開催。ユース自身が全国の湿地を訪問し、現地で活動する人に取材し、その成果をインターネット上に公表するユースリサーチプロジェクト(YRP)を、5箇所で開催。「エコライフ・フェア」「環境デーなごや」にてブース出展を実施。中海で開催された「ラムサールシンポジウム」において、活動発表を実施。



クッチャロ湖
参加者が作成した壁新聞

今後の課題

具体的な湿地保全活動まで踏み込んだ活動ができなかった。環境イベントへの出展では「湿地の魅力」は伝えられたが、「CEPA」や「ワイズユース」といった、湿地保全の重要な理念までは十分に伝えられなかった。

成果と工夫した ポイント



成果

当初のアウトカムでは、20人規模の交流会を2回実施と想定していたが、交流会は2回開催できたものの、参加者の規模は20人には及ばなかった。ユースリサーチプロジェクトは五つの湿地で実施することができた。

工夫

交流会、YRPはともに、現地の自治体、NGOなどと事前に十分に打ち合わせの上、実施した。